

令和6年度

武蔵野市 予算案の概要

変化する時代 命を尊重し安全・安心な未来を築く予算

目次

令和6年度 予算編成方針（概要）	2
令和6年度 武蔵野市当初予算案	3
令和6年度 特徴ある事業	4
付属資料	2 3

令和6年度 予算編成方針（概要）

変化する時代 命を尊重し安全・安心な未来を築く予算

- 老朽化の進む公共施設や都市インフラの更新、急速に進行する高齢化への対策や障害者への支援など社会保障の充実と安定化、東京直下地震などの大規模災害に備えた災害対策の強化など、さまざまな課題に積極果敢に取り組みます。
- 新型コロナウイルス感染症やウクライナへの軍事侵攻など、いくつかの要因の連鎖による社会・経済全体の不確かな状況を踏まえ、「選択と集中」を念頭に置き、限られた財源を真に必要な事業に重点的・効率的に配分しました。
- 効率的な行政経営により健全な財政運営を維持するため、事務事業・補助金の見直しを行ったほか、経常経費はこの間の物価高騰を踏まえ、適切に上限額を定めた枠配分方式により経費節減に努めました。

令和6年度 武蔵野市当初予算案

一般会計

815億2300万円 前年度比 86億100万円増（11.8%増）

特別会計

会計名	令和6年度	前年度比	増減率
国民健康保険事業	144億2999万円	+5億3981万円	+3.9%
後期高齢者医療	44億7378万円	+2億1881万円	+5.1%
介護保険事業	129億2807万円	+3億8641万円	+3.1%

水道事業会計

区分	令和6年度	前年度比	増減率
収益的収入	38億4629万円	+4444万円	+1.2%
収益的支出	37億9597万円	+4003万円	+1.1%
資本的収入	3億8228万円	+7305万円	+23.6%
資本的支出	10億1766万円	+1億1332万円	+12.5%

下水道事業会計

区分	令和6年度	前年度比	増減率
収益的収入	29億393万円	+1099万円	+0.4%
収益的支出	28億3152万円	△281万円	△0.1%
資本的収入	6億5174万円	+1955万円	+3.1%
資本的支出	10億6199万円	+921万円	+0.9%

※ 各表の係数は、原則として四捨五入しているため、表内の増減率が一致しない場合があります。

令和6年度

特徴ある事業

全世帯を対象に家具転倒防止金具などの購入費用を補助します	5
旧赤星鉄馬邸の利活用を検討します	6
自治体DXをさらに推進します	7
市民の環境配慮行動にエコポイントを付与します	9
公共施設における電力の最適化を検討します	10
民間井戸のPFAS水質調査を行います	11
下水道事業で長期包括契約方式を導入します	12
精神保健分野のアウトリーチ支援を行います	13
看護小規模多機能型居宅介護事業所を整備します	14
高齢者の聴こえの支援を行います（補聴器の購入費補助など）	15
子どもの権利擁護機関を設置します	16
三鷹駅北口周辺の再整備に向けた検討を進めます	17
吉祥寺駅南口周辺のまちづくりを進めます	18
学校の改築を進めます	20
部活動の着実な地域連携を推進します	21
不登校対策と教育相談の体制を強化します	22

全世帯を対象に家具転倒防止金具などの購入費用を補助します

予算額

1176万円

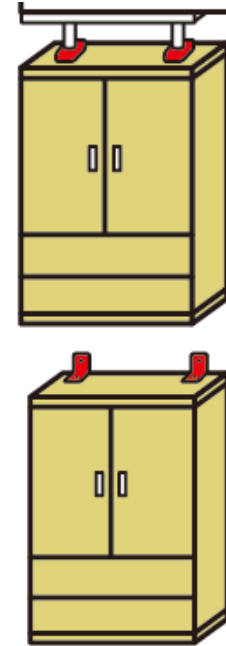
地震災害の際の自助の取り組みとして効果が期待される **家具転倒防止対策**について、従来の高齢者支援課・障害者福祉課の事業に加え、新たに全世帯を対象とした支援を行います。首都直下地震から市民の生命、身体、財産を守る事業を推進していきます。

内容 家具転倒防止金具などの購入費用を補助します

対象 市内に住所を有する世帯

補助内容 自宅の家具などに取り付けた転倒防止金具などの購入費

支給上限額 1世帯当たり **1万円**（1回）



家具転倒防止金具（例）



地震で倒れた家具

旧赤星鉄馬邸の利活用を検討します

予算額

2493万円

アントニン・レーモンド設計の旧赤星邸の保存と、緑豊かな庭との一体的な利活用をするための取り組みを進めます。

利活用検討

委員会を設置し、保存活用計画を2カ年かけて策定します。

広報・周知

令和5年度に引き続き、社会実験・一般公開を実施します。

調 査

竣工当時の模型作成と、オリジナルデザインへの復元が可能かどうか建物の調査を行います。また、敷地内の測量を行います。



旧赤星鉄馬邸



一般公開の様子（令和5年5月）



社会実験の様子（令和5年11月）

自治体DXをさらに推進します（1）

市民の利便性向上を図るとともに、デジタル技術の活用による業務効率化・生産性向上を推進します。

新規

①子どもに関する手続きのワンストップ化に向けた窓口業務の改善

民生費

予算額	770万円
-----	-------

窓口やオンラインでの手続きがより分かりやすく簡単に行えるよう、市民サービス向上と業務効率化の検討を行います。



新規

②申請手続きのDX推進

総務費

予算額	3527万円
-----	--------

行政手続きの申請過程でデジタルツールを活用することで、オンライン申請の拡充など市民の利便性向上や業務効率化を図ります。



担当課

- ① 子ども家庭部子ども子育て支援課
- ② 総務部情報政策課

☎ 0422-60-1963

☎ 0422-60-1805

自治体DXをさらに推進します（2）

市民の利便性向上を図るとともに、デジタル技術の活用による業務効率化・生産性向上を推進します。

新規

③生成AIサービスの試行導入

総務費

予算額	473万円
-----	-------

生成AIサービスを試行的に導入し、文書作成やキャッチフレーズ考案、事業企画などの補助として活用します。



レベルアップ

④最高情報責任者（CIO） 補佐官の任用

総務費

予算額	241万円
-----	-------

外部のICT専門人材を引き続き任用し、DXをさらに推進します。



新規

⑤地域生活環境指標データの 活用

総務費

予算額	400万円
-----	-------

最新の各指標を地図データに反映し、公開することでより広く市民などが活用できる仕組みを検討します。



担当課

③④ 総務部情報政策課

☎ 0422-60-1805

⑤ 総合政策部企画調整課

☎ 0422-60-1801

市民の環境配慮行動にエコポイントを付与します

予算額

162万円

令和5年度に作成した「気候危機打開！むさしの市民エコアクション」の実践と定着化に向け、エコアクションに取り組むきっかけづくりとして市民の環境配慮行動にエコポイントを付与します。

電気使用量を削減するなどの
環境配慮行動に
エコポイントを付与

ポイントに応じて
市内産の商品などの
景品と交換



公共施設における電力の最適化を検討します

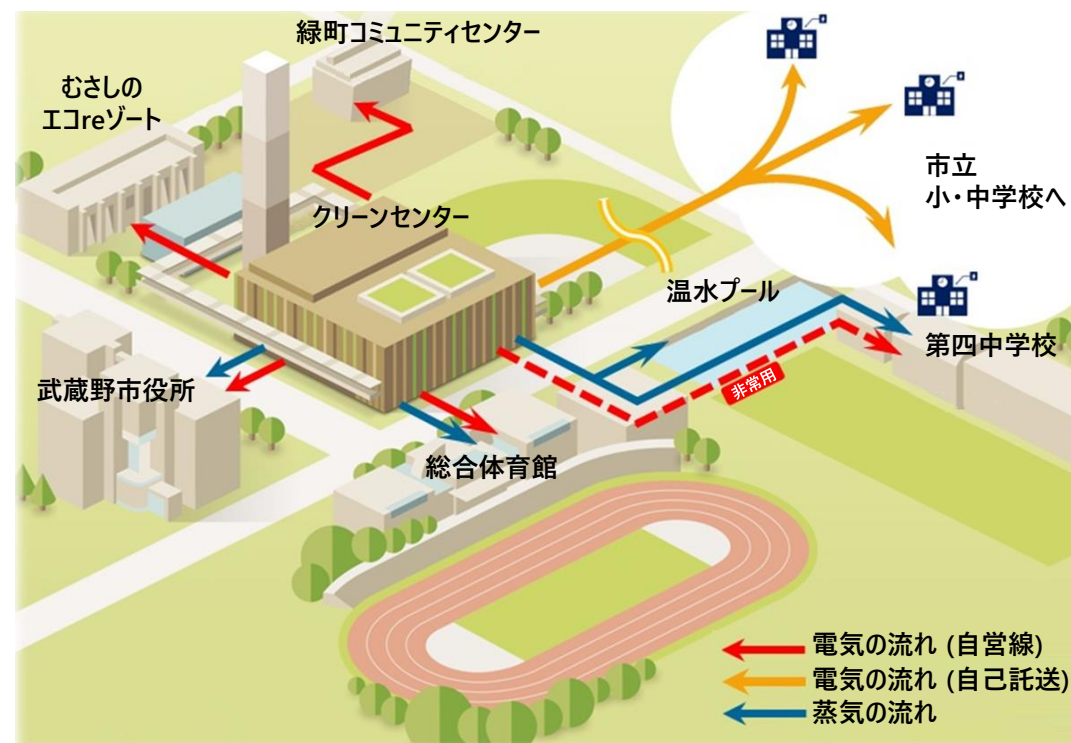
予算額

583万円

公共施設における再エネ電力の安定的な調達を図るための手法や、クリーンセンターのごみ発電による電力のさらなる有効利用の方法を含め、市の公共施設全体の電力の最適化について検討します。

目的

- 環境面やコスト面などのバランスを踏まえた再エネ電力の安定調達の実現
- クリーンセンターのごみ発電による電力の地消率向上に向けた、さらなる効率的・効果的な利用の推進



エネルギー地産地消プロジェクト イメージ

民間井戸のP F A S水質調査を行います

予算額

582万円

※既存事業費含む

多摩地域におけるP F A S（有機フッ素化合物）汚染問題に関心が高まっていることから、市内の井戸水の状況を把握するため、令和6年度は民間井戸についてP F A Sの水質調査を行います。

調査項目

P F O S、P F O A、P F H x S

予定件数

100カ所



水質調査の様子

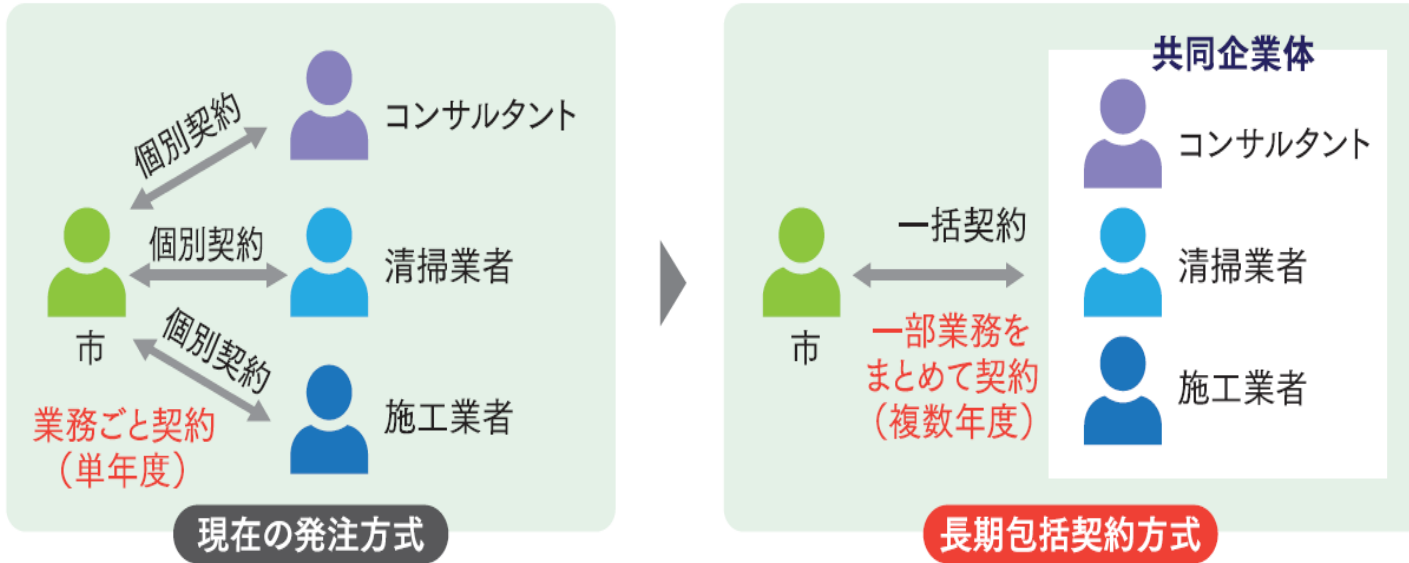
下水道事業で長期包括契約方式を導入します

予算額

2億4935万円

下水道施設の計画的・効率的な管理により、安定的・持続的な下水道サービスの提供を将来にわたり実現するため、民間事業者のノウハウなどを活用した長期包括契約方式を試行的に導入します。

※既存事業費を含む
※老朽化対策関連事業費を除く



事業期間

令和6年度～9年度（4年間）

対象区域

市内全域（一部市外を含む）

対象施設

下水道施設（一部対象外）

対象業務

統括管理業務（一元的管理など）
維持管理業務（点検・調査、清掃、修繕など）
改築業務（設計、改築）
計画策定支援業務

精神保健分野のアウトリーチ支援を行います

予算額

1100万円

市福祉総合相談窓口には、社会的な孤立やひきこもりなど、さまざまな課題を抱える方から相談が寄せられています。

精神保健に課題を抱える方やその家族が地域で安定した生活ができるよう、精神保健福祉士や看護師などの専門職による **アウトリーチ（訪問）支援** を行います。

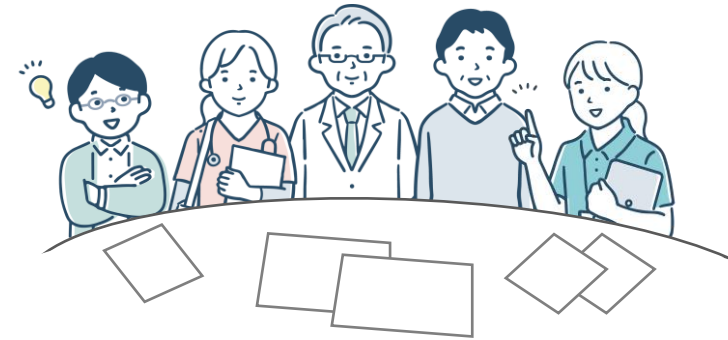
専門職による自宅訪問

精神保健福祉士や看護師などが丁寧に困りごとを聴き取り、適切な支援を行います。



地域での支援体制強化

地域の関係機関のネットワーク構築・連携を図ります。



看護小規模多機能型居宅介護事業所を整備します

予算額

9476万円

市では、中重度の要介護の方が在宅生活を継続できるまちを目指しています。
市有地を活用し、公募した民間事業者による看護小規模多機能型居宅介護事業所の開設を支援します。

事業内容

看護小規模多機能型居宅介護
(登録29名、通い18名、泊まり9名)
地域交流スペース

予定地

吉祥寺南町3丁目24番

敷地面積

510㎡

開設予定

令和7年度

看護小規模多機能型居宅介護

在宅生活を支える介護保険サービス。訪問看護、訪問介護、通い（デイサービス）、泊まり（ショートステイ）の4つのサービスを一体的に提供します。



施設の完成イメージ

高齢者の聴こえの支援を行います (補聴器の購入費補助など)

予算額

1557万円

加齢による聴力の低下は、社会参加の機会の減少や認知症の要因となることがあります。聴こえの支援を行い、住み慣れた地域でその人らしい日常生活が続けられるよう支援します。



普及・啓発事業

加齢性難聴や補聴器の正しい理解の普及・啓発のための講座や講演会など

相談事業

専門家による加齢性難聴や補聴器の使い方などについての相談会

補聴器購入費補助事業

補聴器購入に要する費用の補助

費用の半額

最大 5万円

※対象 医師により補聴器の使用が必要と認められた高齢者など



補聴器に関する普及・啓発ブース

子どもの権利擁護機関を設置します

令和5年4月に施行した「武蔵野市子どもの権利条例」に基づいて子どもの権利擁護機関を設置するとともに、子どもの権利の普及・啓発の取り組みを進めます。

子どもの権利擁護機関の設置

子どもの権利について、子どもが直接相談できる相談窓口を設置します。

子どもの権利の普及・啓発の取り組み

「武蔵野市子どもの権利の日（11月20日）」や「子ども子育て応援フェスタ（10・11月）」などの機会を活用して普及・啓発に取り組みます。

予算額

3815万円

※既存事業費含む



令和5年度子どもの権利の日イベントの様子



子どもの権利条例リーフレット(かんたん版・かわいい版)

三鷹駅北口周辺の再整備に向けた検討を進めます

予算額

2 2 1 3 万円

駅前広場の機能改善と、歩行者中心のにぎわいのある駅周辺への再整備を目指し、実現に向けて検討を進めます。

交通体系

- 交通体系の再編に向けた社会実験の企画調整など

事業手法

- 駅前広場の拡張の方向性や手法の検討
- 周辺地権者の意向の継続的な確認



交通が整理され歩行者中心となった駅前広場のイメージ（例）

にぎわい

- 沿道の街並み誘導策の検討
- パブリックスペースの利活用方法の検討



にぎわいのある道路のイメージ（例）



パブリックスペース利活用社会実験

ビジョン

- 「三鷹駅北口街づくりビジョン」の改定着手

吉祥寺駅南口周辺のまちづくりを進めます（1）

吉祥寺駅南口エリアのまちづくりに関するさまざまな取り組み・工事などを行います。

継 続

① 吉祥寺パークエリアまちの将来像 立案に向けた地域展開支援

総務費

予算額	1 2 6 4 万円
-----	------------

吉祥寺パークエリアの将来像の立案に向けて、まちの機運を高めるための取り組みを行います。

継 続

② 武蔵野公会堂改修工事関連

総務費

予算額	8 6 0 4 万円
-----	------------

より安全で利用しやすい施設として再整備するため、改修工事の基本設計・実施設計などを進めます。

吉祥寺パークエリア
エリア図



改修後の武蔵野公会堂イメージ

担当課

- ① 総合政策部企画調整課
- ② 市民部市民活動推進課

☎ 0 4 2 2 - 6 0 - 1 9 8 2

☎ 0 4 2 2 - 6 0 - 1 8 3 0

吉祥寺駅南口周辺のまちづくりを進めます（2）

吉祥寺駅南口エリアのまちづくりに関するさまざまな取り組み・工事などを行います。

継 続

③ 吉祥寺駅南口周辺交通体系検討

土木費

予算額	947万円
-----	-------

「吉祥寺駅南口交通環境基本方針の策定に向けた考え方」に基づき、引き続き「吉祥寺駅南口交通環境基本方針」の策定に向けた議論を深めていきます。

新 規

④ 吉祥寺駅南口暫定広場環境改善工事

土木費

予算額	448万円
-----	-------

来街者が迷うことなく安心してまちを楽しむことができるよう、南口暫定広場に歩行者用案内サインを設置するとともに、車止めの一部を可動式に改修するなど、ひとが集い、利活用しやすい環境に改善します。



吉祥寺駅南口周辺（パークロード）の様子

担当課

③④ 都市整備部吉祥寺まちづくり事務所

☎ 0422-21-1118

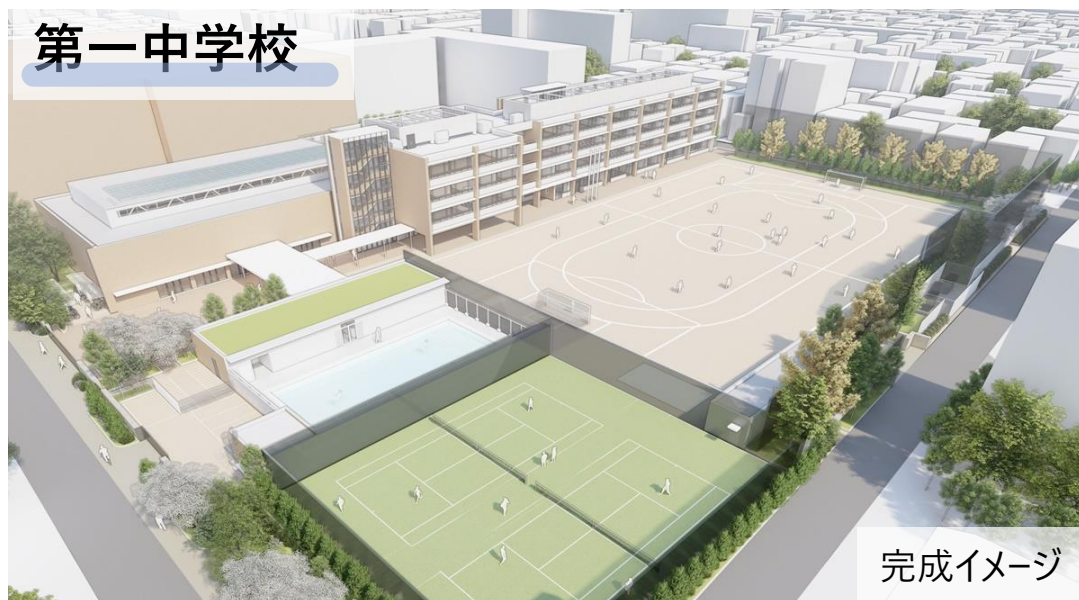
学校の改築を進めます

予算額

63億5128万円

令和2年3月に策定した「武蔵野市学校施設整備基本計画」に基づき、第一中学校・第五中学校、第五小学校・井之頭小学校の改築事業を進めます。

第一中学校



第五中学校



第五小学校・井之頭小学校

令和4年度に策定した基本計画、令和5年度に行った基本設計を基に、実施設計を行います。

部活動の着実な地域連携を推進します

予算額

3 6 4 2 万円

※既存事業費含む

部活動指導員の増員と部活動コーディネーターの配置により、持続可能な部活動の体制づくりを進めます。

部活動指導員 増員

中学校（6校） 各校 **2** 名 ▶ 各校 **4** 名

小学校（12校） 全校で **4** 名 **新規** 配置

部活動コーディネーター 新規配置

地域の情報収集や部活動指導員への研修など、
部活動の地域連携を推進します。



中学校での部活動指導員による指導の様子

不登校対策と教育相談の体制を強化します

予算額

1億9965万円

※既存事業費含む

不登校の小・中学生の増加に対応するため学校内の支援体制を整備します。
また、教育支援センターの教育相談やスクールソーシャルワーカーへの相談数も増加傾向にあるため、職員体制を拡充し、相談支援体制を強化します。

家庭と子どもの支援員(常駐型)配置校

8校 ▶ 13校



不登校傾向の小・中学生に
教室以外の居場所で支援を行います。

教育相談員

12名 ▶ 13名



教育相談の増加に対応します。

チーフスクールソーシャルワーカー

新規配置



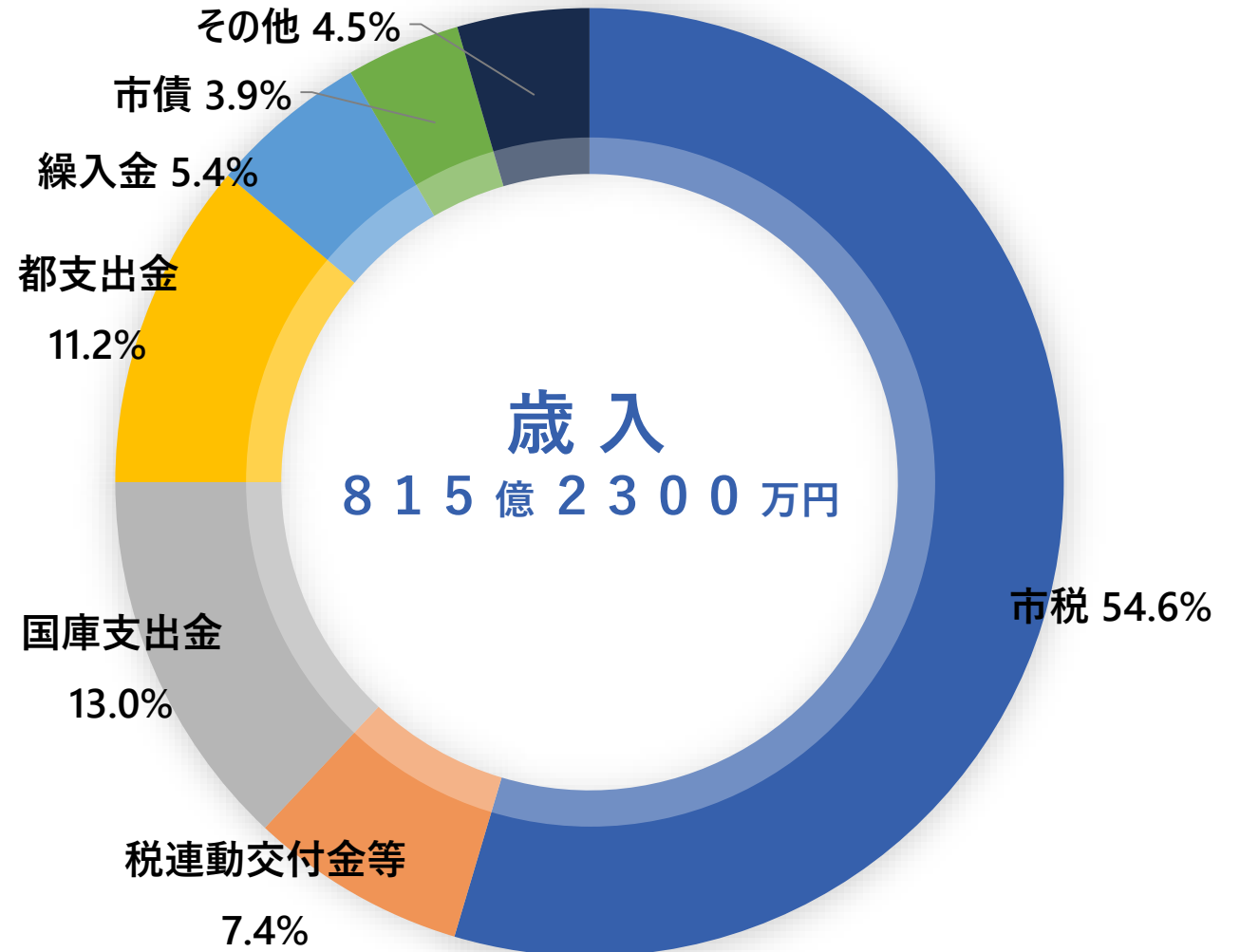
スクールソーシャルワーカーの
相談機能を強化します。

付属資料

令和6年度 一般会計 歳入予算	24
令和6年度 一般会計 歳出予算（目的別）	25
令和6年度 一般会計 歳出予算（性質別）	26
市民1人当たりの予算額	27
基金の状況	28
地方債等（借入金）の状況	29
ふるさと応援基金充当事業と事務事業等見直しの状況	30

令和6年度一般会計歳入予算

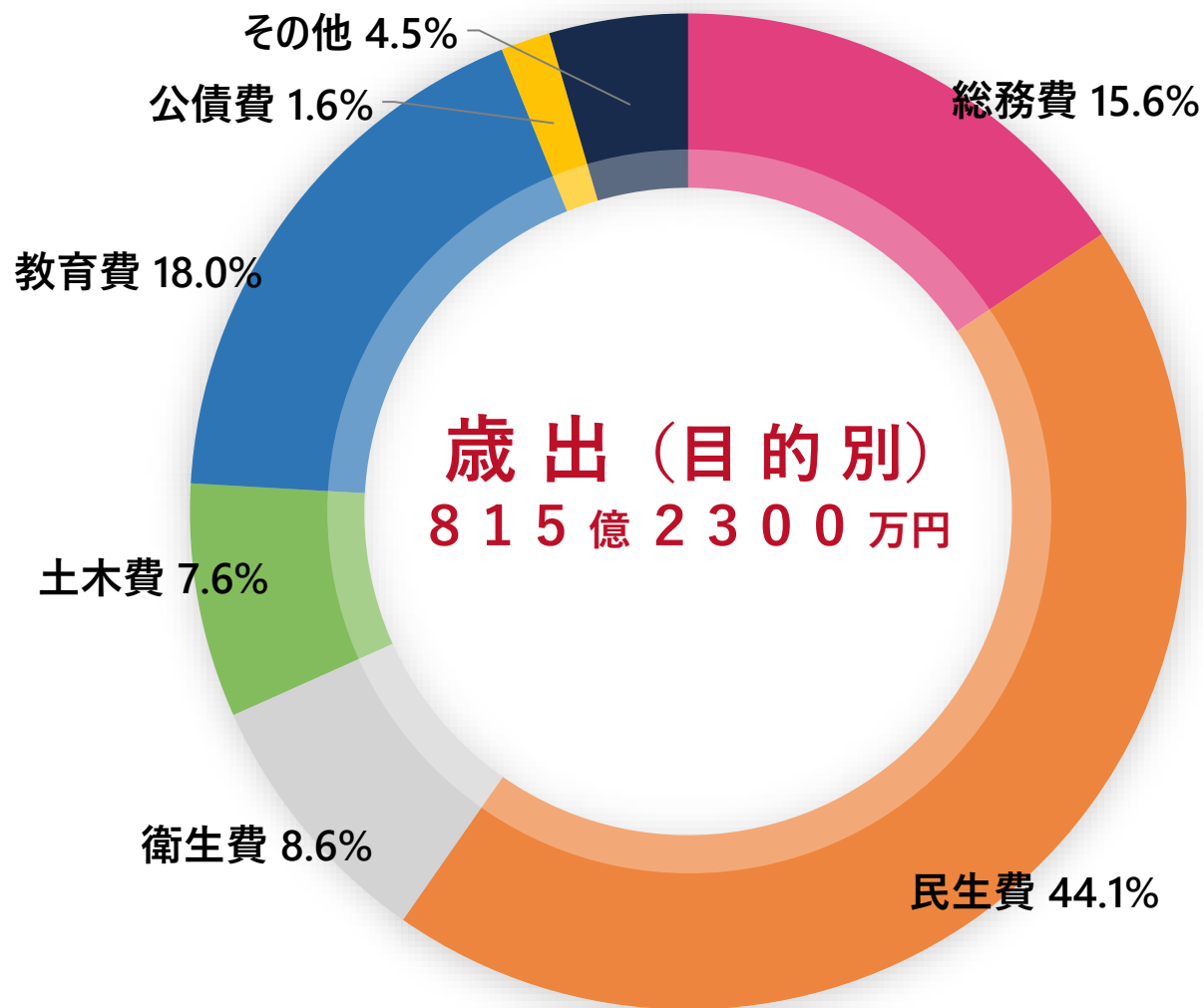
区分	令和6年度	前年度比 []は増減率
市税	445億2996万円	+13億2246万円 [+3.1%]
税連動交付金等	60億3857万円	+6億827万円 [+11.2%]
国庫支出金	105億6478万円	△3761万円 [△0.4%]
都支出金	91億2255万円	+9億2806万円 [+11.3%]
繰入金	44億3844万円	+33億418万円 [+291.3%]
市債	32億円	+25億7000万円 [+407.9%]
その他	36億2870万円	△9436万円 [△2.5%]



※ 各表、グラフの係数は、原則として四捨五入しているため、表内の増減率が一致しない場合があります。

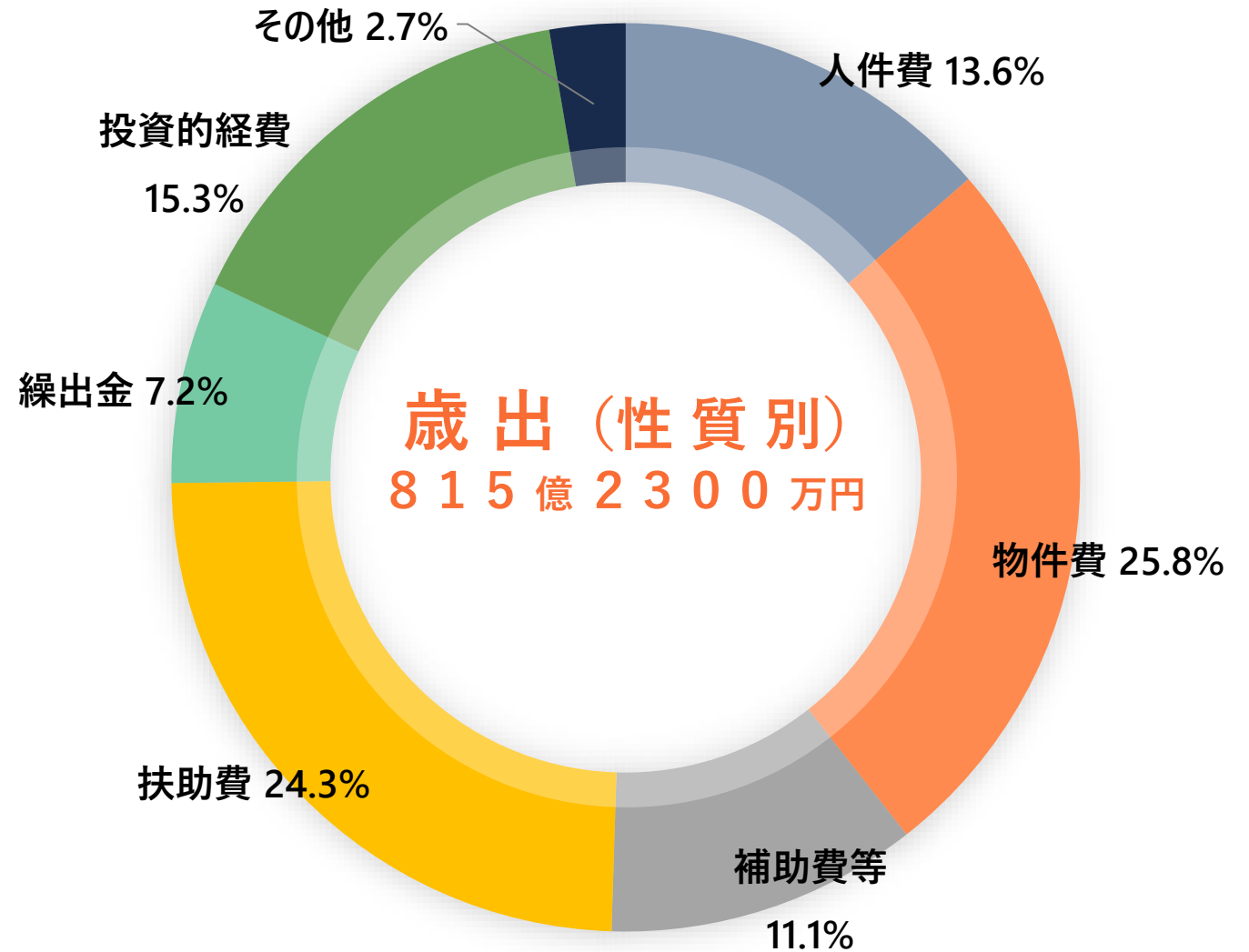
令和6年度一般会計歳出予算（目的別）

区分	令和6年度	前年度比 〔 〕は増減率
総務費	127億4256万円	+34億1883万円 〔+36.7%〕
民生費	359億5202万円	+31億7012万円 〔+9.7%〕
衛生費	70億5364万円	△1億3309万円 〔△1.9%〕
土木費	61億7349万円	△4億1732万円 〔△6.3%〕
教育費	146億9752万円	+26億23万円 〔+21.5%〕
公債費	12億7962万円	△9768万円 〔△7.1%〕
その他	36億2415万円	+5991万円 〔+1.7%〕



令和6年度一般会計歳出予算（性質別）

区分	令和6年度	前年度比 []は増減率
人件費	110億7535万円	+4億1384万円 [+3.9%]
物件費	209億9517万円	+15億6109万円 [+8.0%]
補助費等	90億6027万円	+5億3466万円 [+6.3%]
扶助費	198億4846万円	+12億458万円 [+6.5%]
繰出金	58億3456万円	+2億2339万円 [+4.0%]
投資的経費	124億6102万円	+46億4244万円 [+59.4%]
その他	22億4817万円	+2100万円 [+0.9%]



市民 1 人当たりの予算額

市民 1 人当たりの
予算額 (一般会計)

武蔵野市の人口

(令和 6 年 1 月 1 日現在)

1 4 万 7 8 0 9 人

1 人当たりの予算額

5 5 万 1 5 4 3 円

高齢者、障害者福祉
などのために



1 3 万 7 0 4 3 円

子育て支援のために



1 1 万 3 9 2 0 円

学校教育、図書館、
スポーツ推進に



9 万 9 4 3 6 円

行政運営のために



5 万 4 5 0 6 円

道路、公園整備など
まちづくりに



4 万 2 0 4 8 円

市民の健康を
守るために



2 万 4 7 0 7 円

ごみ処理、環境保全の
ために



2 万 4 1 3 6 円

コミュニティ、文化、
国際交流のために



2 万 2 8 5 1 円

消防、災害対策に



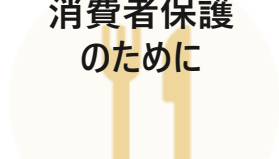
1 万 4 6 3 5 円

市債 (市の借金)
の返済に



8 6 5 7 円

商業振興、
消費者保護
のために



4 7 0 6 円

市議会運営に



3 3 2 6 円

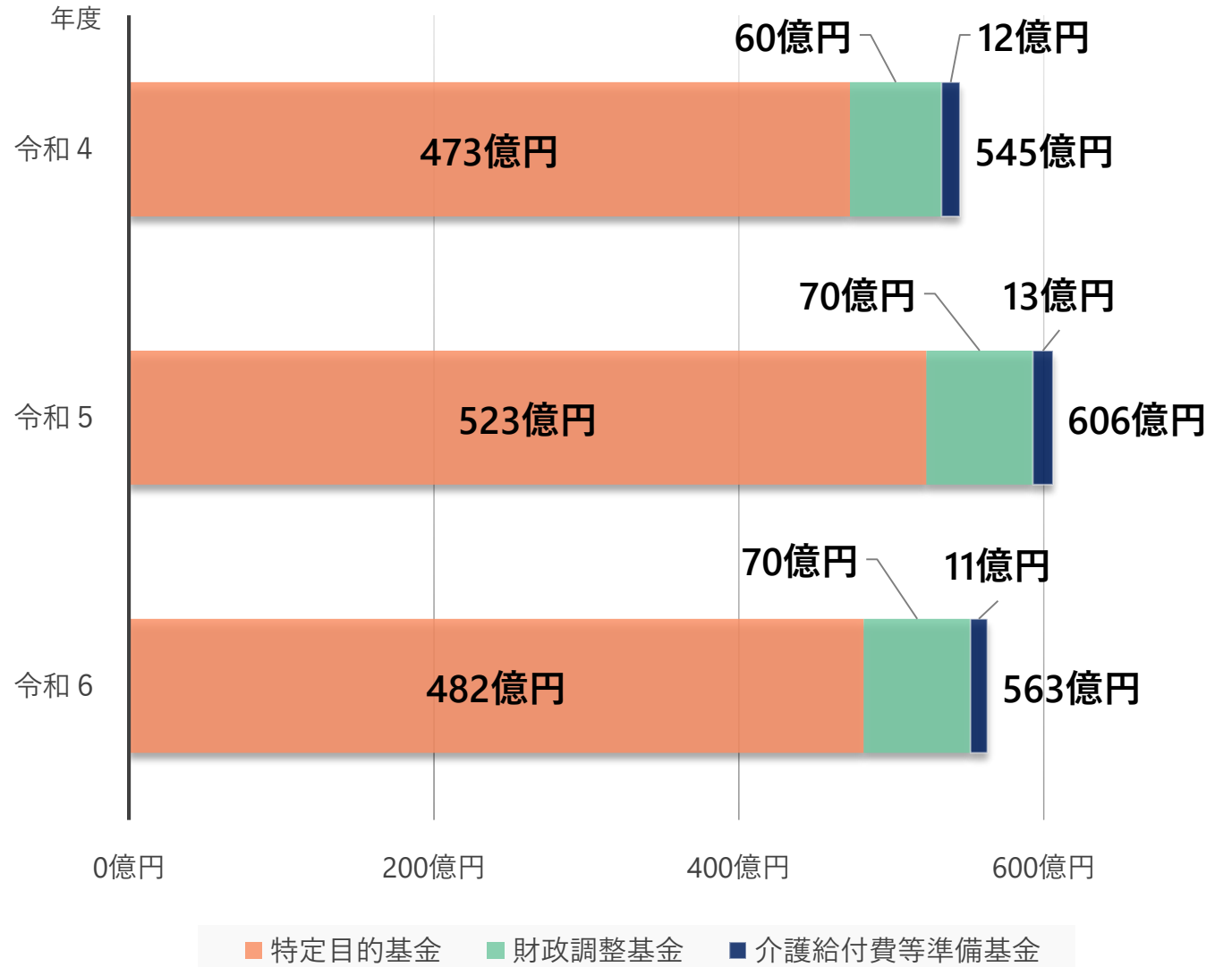
その他



1 5 7 2 円

基金の状況

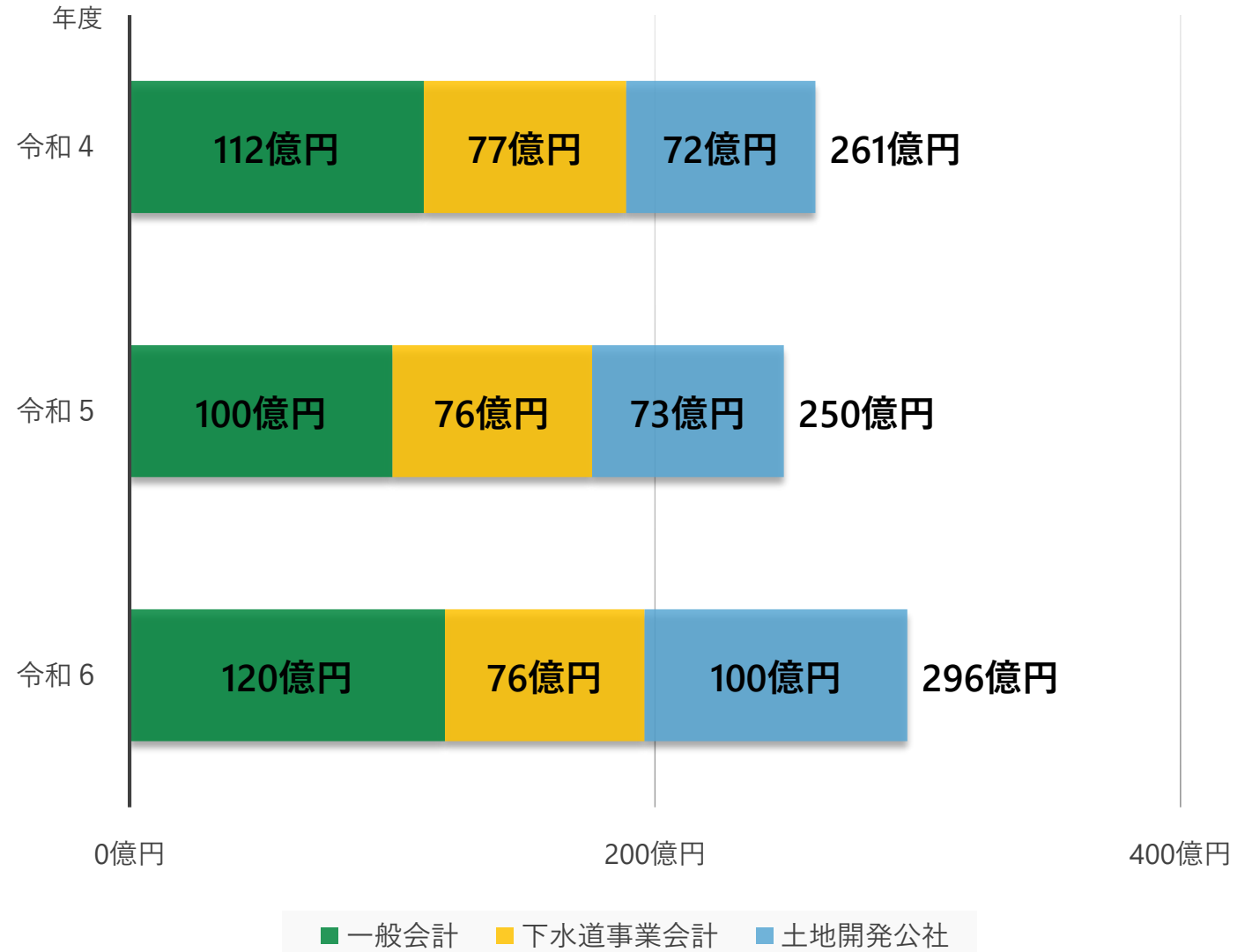
名称	令和6年度末 残高見込額 (当初予算ベース)	前年度比 [] は増減率
財政調整基金	70億 956万円	+6万円 [0.0%]
公共施設 整備基金	183億 6560万円	△17億 9323万円 [△8.9%]
学校施設 整備基金	185億 4804万円	△19億 9877万円 [△9.7%]
吉祥寺まちづくり 基金	46億 7558万円	△1738万円 [△0.4%]
公園緑化基金	54億 3583万円	△1億 9989万円 [△3.5%]
その他特定目的 基金	11億 5473万円	△1億 2083万円 [△9.5%]
介護給付費等 準備基金	11億 1867万円	△1億 7227万円 [△13.3%]



※ 右グラフの令和4年度は実績額、令和5年度は見込額、令和6年度は当初予算ベースでの年度末残高見込額となります。

地方債等（借入金）の状況

区分	令和6年度末 残高見込額	前年度比 []は増減率
一般会計	119億7811万円	+19億9912万円 [+20.0%]
下水道事業会計	76億4861万円	△3万円 [0.0%]
土地開発公社	100億950万円	+26億8225万円 [+36.6%]



※ 右グラフの令和4年度は実績額、令和5年度及び令和6年度は年度末残高見込額となります。

ふるさと応援基金充当事業と事務事業等見直しの状況

ふるさと応援基金充当事業

寄附の使い道（分野指定）	令和6年度	充当事業
まちぐるみの支え合いを実現するための取り組みを応援します。	115万円	高齢者日常生活支援事業 【聴こえの支援事業】
子どもたちが希望を持ち健やかに暮らせるまちづくりを応援します。	664万円	0123施設の管理運営
災害や危機に強いまちづくり、安全で安心なまちづくりを応援します。	228万円	一般管理経費（災害対策費） 【家具転倒防止金具等購入費補助】
緑などの豊かな資源を次世代に引き継ぎ、持続可能な環境都市の実現を目指す取り組みを応援します。	304万円	公園等建設事業
豊かで多様な文化の醸成と学習・スポーツ活動の推進を応援します。	91万円	吉祥寺美術館の管理運営 【武蔵野アール・ブリュット2024の開催】
まちの魅力を高め豊かな暮らしを支える産業の振興を応援します。	156万円	産業連携プロジェクト事業 【CO+LAB MUSASHINO事業】
良好な都市景観を大切に、持続可能な都市基盤を推進する取り組みを応援します。	203万円	景観道路事業
特に指定しません（市長におまかせします）。	1194万円	防火水槽・消火栓維持管理 【消火栓の計画的改修】

事務事業等見直し

項目	令和6年度削減額
事務事業見直し	2347万円
補助金の見直し	420万円
予算枠配分方式による縮減	2107万円